



ヴェネツィア・ビエンナーレ - 第76回ヴェネツィア国際映画祭

ギリシャとフランスにルーツを持つ 映画監督コスタ=ガヴラスに ヴェネツィア国際映画祭の 2019年ジャガー・ルクルト「監督・ばんざい!」賞を授与

ヴェネツィア、2019年8月31日： - リド島にあるパラッツォ・デル・シネマで行われた表彰式にて、高い評価を受けているギリシャとフランスにルーツを持つ映画監督コスタ=ガヴラスにヴェネツィア国際映画祭の2019年ジャガー・ルクルト「監督・ばんざい!」賞が授与されました。ヴェネツィア国際映画祭ディレクターのアルベルト・バルベラによって賞が授与された後、続いてコスタ=ガヴラス監督の新作『Adults in the Room』がコンペティション外部部門のワールドプレミアとして上映されました。

ジャガー・ルクルトは、2007年からヴェネツィア・ビエンナーレとパートナーシップを結んでおり、現代映画に偉大な革新をもたらした人物に「監督・ばんざい!」賞を授与しています。50年以上映画界でのキャリアを持つコスタ=ガヴラス監督は、エンターテインメント作品という形を取りながらも、彼自身の行動主義を反映した政治的映画という新たな形式を作り出しています。ドキュメンタリーではなくドラマを通じて厄介ではあるが重要な質問を投げかけることで、彼はその根源的な意義を主流となる観客たちの前に提示しています。彼の新作『Adults in the Room』は、2015年のギリシャの財政救済策を題材にしたヤニス・バルファキスの著作『Adults in the Room: My Battle with Europe's Deep Establishment』を映画化したものです。

「監督・ばんざい!」賞のトロフィーに加えて、コスタ=ガヴラス監督にはパーソナライズしたレベルソウォッチが贈呈されました。これには、ジャガー・ルクルトの職人によって手作業でエングレービングが施され、ヴェネツィア・ビエンナーレの公式ロゴの象徴的な一部である翼のある獅子が刻まれています。映画文化と映画芸術の保護への積極的な取り組みの一環として、ジャガー・ルクルトは今年15回目となるヴェネツィア国際映画祭のメインスポンサーを務めています。



ジャガー・ルクルト

創設以来、ジャガー・ルクルトは正確さを完全な芸術へと昇華させ、高度なサヴォアフェール（ノウハウ）と芸術的センス、精密化と精巧な外観美の完璧な均衡を見出しました。1833年より培われた発明精神に忠実に、マニュファクチュールの職人たちは最先端の高級時計コレクションを創造しています。レベルソ、マスター、ランデヴー、そしてアトモス…。グランド・メゾンとして名高いジャガー・ルクルトが時の流れとともに築き上げた豊かな遺産は、絶え間ないインスピレーションの源となり、前例のないタイムピースを生み出すことで、時計製造の限界を押し広げていきます。

www.jaeger-lecoultre.com